

18歳までの医療費 所得制限撤廃、 完全無料化が実現！

ひの
6月議会

日野市でも、18歳までの子どもの医療費の完全無料化が実現しました。6月議会に市長より、所得制限の撤廃と窓口200円負担をなくすための条例案、予算案が提案され、全会一致で可決・成立したものです（実施は10月から）。

市長も、市議会多数も、大きく変化！

所得制限撤廃をめぐるのは、つい3月議会でも、市長自身が消極的な姿勢に終始していた（囲み参照）だけに、画期的な動き・成果です。

また、市議会においても、所得制限の撤廃を求める市民の請願が寄せられた2020年の3月議会の請願審査の時点では、「所得制限をかけざるを得ない財政状況」（自民）、「市単独で所得制限を撤廃できる状況ではない」（公明）などと市議会多数の会派・議員が反対し不採択としていた経緯があり、全会一致で成立したことは、大変大きな変化です。

所得制限の撤廃を提案し続けてきた 日本共産党市議団

日本共産党市議団は、毎年の予算要望をはじめ、市議会の代表質問、一般質問、請願審査等で一貫して所得制限の撤廃を求め、実現を迫り続けてきました。

3月議会では、26市の多くの自治体が所得制限の撤廃へ動き出している事実を示しながら、代表質問、予算委員会の民生費、総括での質疑、予算案に対する意見等で行きかえし、所得制限の撤廃を求めています。

3月議会での市長答弁



「財政再建中の日野市がどこまで子どもの医療費無料化に
独自で踏み切れるか、難しい話」

「日野市が財政的に豊かになれば、可能性があるかもしれないけれど、現時点においては難しいと判断させていただくということ」

6月議会にて

26市の中で所得制限が
残っているのは7市である
ことが判明。そうした中で
所得制限の撤廃を決断！

日本共産党市議団の6月議会一般質問



岡田じゅん子

今こそ、緑と清流のまちの原点を確認し、
未来に向かおう！

- 公園のみどりや街路樹、落ち葉、害獣対策について
- みどりの整備・保全へ向けた人的配置について
- 「環境基本計画」「みどりの基本計画」と、崖地の緑の保全について

市長答弁「指摘されたことに対しては襟をただしながら前向きに
頑張っていくたい」



わたなべ三枝

- ①吹上多摩平保育園の虐待問題を問う
- ②市民の安全を守るため、V-22オスプレイの
住宅街での訓練は中止せよ！

市長答弁「今後とも、しっかり監視して
必要な要請を続けていく」



ちかざわ美樹

- ①バス路線廃止問題～住民の暮らしに対する
『公共の責任』の根本が問われている

市長答弁「なるべく時間をかけずに解決する
努力をしていきたい」

- ②三沢特殊地下壕問題その5～全容解明
なしに市民の安全・安心はあり得ない

市政から不正・ムダを一掃するために！
～官製談合問題への市の姿勢・対応を問う～

- 業者へのヒアリング結果、内部調査報告書で認定した
事実・評価の重大性について

市長答弁「第三者の意見を聞いて、
妥当性について
検証する」



中野あきと

日本共産党日野市議団
ホームページ



警視庁からの情報提供で発覚した官製談合疑惑！

市政の不正・違法、ムダ使いは許さない！

日本共産党市議団

河内元副市長をめぐる一連の不正疑惑の解明が求められている日野市で、新たに警視庁からの情報提供で官製談合疑惑が発覚。党市議団の昨年12月、今年3月、6月議会での徹底追及で、市の対応、判断の問題点や誤りが浮き彫りになり、さらに官製談合疑惑が深まりました。そうした中で大坪市長は、第三者による調査・解明を進める旨を表明しました。

33件の修繕業務で

市が最初に現場確認で指名した業者が落札！

警視庁からの情報提供と要請を受けた市は内部調査を実施。その結果、市（職員）が、最初に修繕現場の立ち会い確認のために指定したA業者に他の2社分の見積もりを依頼しながら、そのA業者の見積り額を設計金額、予定価格とし、A業者が落札していたという異常な実態が明らかになりました。党市議団の追及で、市（職員）が最初から落札業者を決定し、その上で競争入札の体裁を取り繕っていた官製談合防止法違反の疑いが浮き彫りになりました。

33件の平均落札率99%。その内8件はなんと100%落札

税金の不当な支出が問われる重大問題！

しかも、市の内部調査で、33件の修繕業務の落札率は平均99%、そのうち100%での落札が8件にのぼることも判明しています。党市議団は、この実態の異常さとともに、是正後の落札率を調査し、平均88%へと大きく下落している事実を指摘。不正・違法とともに税金のムダ使いが問われる重大問題であることを明らかにしました。

党市議団の指摘、徹底追及に

市長が「第三者の意見を聞いて今一度検証する」と明言！

市は、内部調査でこれだけの事実を確認し「公正な入札が妨害された疑いは否めない」と報告書にまとめながら、なぜか、最終的には「官製談合とまでは言えない」と結論を下しています。

党市議団は、上記の事実、問題点を明らかにしながら、市の判断と対応の誤りを批判、第三者による検証も含めた全面的な解明を求めました。

これに対し市長は、第三者の意見を聞くなどして検証する（囲み参照）と応じました。

ことは、業者との癒着などの不正・違法、そして税金のムダ使いが疑われる重大問題です。党市議団は、引き続き全力で取り組みます。

大坪市長の答弁

「自分（市）が行ってきたことについて（の市自身による調査・判断）は、客観性にかける部分がある可能性があります」

「第三者、例えば入札等監視委員会やコンプライアンス委員会などの意見を聞くことで、今一度、その判断や運用が妥当であったかについて検証することも必要であり有効であると考えています」



文化・スポーツ・地域コミュニティに影響及ぼす

使用料の値上げ案が自民、公明などの与党の賛成多数で可決！

空前の物価高騰のもと、6月議会に、市民会館・七生公会堂（2024年10月1日施行）、市民の森ふれあいホール（2024年4月1日施行）などの使用料の改定案が提案され、自民、公明、チームみらいなど与党の賛成多数で可決されました（日本共産党は反対）。

物価高騰のもと、値上げを見送る自治体もある中…

物価高騰のもと、計画していた値上げを延期する近隣自治体も生まれる中、市は4年に1回の見直しを予定通り行い改定案を決定。議会に、市民会館、七生公会堂、ふれあいホールなどの値上げ案を提案してきました。

「値下げ」の試算結果が出されても、値下げせずにそのまま！

市は値上げの根拠について日野市の使用料等の「見直し基準」に基づく試算の結果だとしています。しかし、試算で、ふれあいホールなどでは一部「値下げ」となる結果が出ているにもかかわらず、値下げは行われていません。

暮らしの実態も「見直し基準」もお構いなしに値上げを断行！

そもそも、使用料等のあり方については、時々の景気・経済動向や、市民の暮らしの実態が考慮されてしかるべきですが、「見直し基準」にそうした要素は入っていません。

市民の暮らしの実態も、市が根拠とした「見直し基準」で値下げの試算結果もお構いなしに、値上げありきで断行するなど許されません。

今後も交流センターなどの使用料値上げの動きが…

4年に1回の使用料等の見直しは、これにとどまりません。さらに交流センターや男女平等推進センターなどの使用料の改定・値上げが検討されています。

物価高騰の中、暮らしを壊し、地域コミュニティを衰退させる使用料の値上げストップへ、世論を大きく広げましょう！